

第20回 医療の質・安全学会学術集会

Group-1
ビジョン 転倒転落対策について
施設での組織的な取り組み方

Group-2
目標設定 病院ごとに定める
目標の決め方

病院全体の対策

Group-3
モノ

物的対策の
整備・選択の仕方

Group-4
ヒト

多職種連携と
人材育成の
考え方

Group-5
エンゲージメント

家族・患者・スタッフ間
の関係構築のポイント
と方法

患者への個別対策

Group-6
リスク評価

個別性を踏まえた
患者評価の仕方

パネルディスカッション2 転倒転落に関するCurrent Best Approach

病院の現場で働く医療従事者の生の声を集めてその課題や施策を成功事例や失敗事例をあわせて抽出し、現状で考えられる最善の施策（CBA：Current Best Approach）の形式知化を進めています。

転倒転落でお悩みの方、
転倒転落対策の事例をお持ちの方、
是非お集まりください！

2025年11月8日（土）09:00-10:30
第2会場【3F 第3展示場B】

座長 杉山良子（パラマウントベッド）
高田誠（オーセンティックス）

パネラー：赤城香（公立西知多総合病院）
東泰弘（公立藤田総合病院）
大庭明子（自治医科大学附属さいたま医療センター）
奥俊介（パラマウントヘルスケア総合研究所）
奥田希世子（浜松リハビリテーション病院）
篠田奈緒子（虎の門病院）

サステイナブルな質の改善と患者安全

